



(様式第1号)

受付番号	江議第 号
受付日	平成27年 12月 10日
送付日	平成27年 12月 10日
答弁期日	平成27年 12月 28日
答弁受理日	平成27年 12月 28日

江田島市議会議長 山根 啓志 様

会 派 名 市 民 ク ラ ブ

質問者氏名 胡 子 雅 信



### 文 書 質 問 書

江田島市議会基本条例第7条第4号の規定に基づき、次のとおり質問いたします。

#### 【質問項目及び質問の内容】

\* 内容は、一般質問として行う内容に相当する程度とし、その趣旨が理解できるよう具体的に記載する。

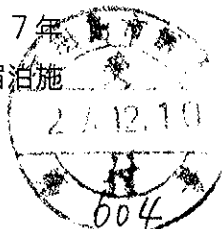
#### (1) 質問項目

能美海上ロッジ等の整備方針について

#### (2) 質問の要旨

平成27年第4回定例会(9月定例会)で江田島市国民宿舎能美海上ロッジ等検討委員会が取り纏めた提言書に基づく整備計画の検討作業の進捗状況を問うたところ、以下内容の答弁があった。

『能美海上ロッジ宿泊施設を公設で建設するには多額の費用を要し、税金の投入が必要であり、運営にあたっては、現実的な事業収支予測を把握する必要がある。これまで3回の内部会議を開催し、庁内検討組織の構成や検討スケジュール、整備手法のまとめ方等について検討を進めている。整備方針を判断するには能美海上ロッジ等3施設事業評価報告書の詳細な補完調査・分析とリサーチをする必要がある。本年度(平成27年度)に、まずこの調査などを実施し、来年度中(平成28年度)には、公設での宿泊施



設整備の必要性の判断を含め、結論を出したいと考えている。』

一方、12月4日の中国新聞では、検討委員会の提言書に関する進行具合について、『市内部で議論を続けており、来年（平成28年）3月には方向性を出したい。』との市長コメントが掲載された。『方向性』について次のことについて伺う。

1. 諮問3施設（国民宿舎能美海上ロッジ、シーサイド温泉のうみ、サンビーチおきみ）の問題解決に向けた整備等の方策に関する提言について方向性を示すということか。
2. また、国民宿舎能美海上ロッジを建て替えるとした場合、建設手法として①行政直接方式（公設）、②PFI方式、③リース方式のいずれかを示すということか。

（3）答弁期日を指定する理由（議長指定以外の場合に必ず記入すること。）

答 弁 期 日： なし

指 定 理 由：



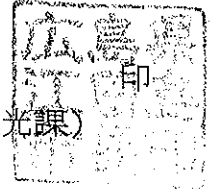
(様式第2号)

平成27年12月25日

江田島市議会議長 山根啓志 様

江田島市長 田中達美

(担当部局：産業部商工観光課)



### 文書質問答弁書

江田島市議会基本条例第7条第4号及び第5号の規定に基づく胡子雅信議員の文書質問については、次のとおり答弁いたします。

#### (1) 質問項目

能美海上ロッジ等の整備方針について

- 1 諮問3施設（国民宿舎能美海上ロッジ、シーサイド温泉のうみ、サンビーチおきみ）の問題解決に向けた整備等の方策に関する提言について方向性を示すということか。
- 2 また、国民宿舎能美海上ロッジを建替えるとした場合、建設手法として、①行政直接方式（公設）、②PFI方式、③リース方式のいずれかを示すということか。

#### (2) 答弁内容

今年3月に、江田島市国民宿舎能美海上ロッジ等整備検討委員会から、能美海上ロッジ等の整備方針について、検討・助言を受けました。

現在、本部会議で検討していますが、宿泊施設の必要性等を含めた観光振興の方向性を整理する必要があるため、この部分について、シンクタンク等の意見も求めながら、補完調査・分析とリサーチを行い、来年3月までに一定の方向性を見出したいと考えています。

建設手法については、必要性の整理ができ、江田島市に一定規模の宿泊施設が必要となれば、次年度に財政負担、観光振興、地域活性化や市民への福祉向上、また、社会情勢の変化等といった様々な観点からどういった整備手法が最も良いのか総合的に判断し、公設、PFI、リース方式、その他色々な方法がありますが、提言書の内容を踏まえ、一定の整備の方向性を示したいと考えています。

